

アフリカ地域

ナミビア
南アフリカ
ザンビア
ルワンダ
ブルンジ
IFRC南部アフリカ地域事務所
IFRC東アフリカ地域事務所

2018年支援対象地域・国

アジア、大洋州、アフリカ地域

計26カ国

各国の支援の詳細につきましては、各事業の三つ折りパンフレットをご覧ください。

橙：現地赤十字社へ直接支援

青：国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)を通じた支援

アジア地域

インドネシア
オーストラリア
インド
IFRCアジア大洋州地域事務所

大洋州地域

フィジー
クロネジ
トンガ
ソロモン諸島
ツバル
バヌアニューギニア
キリバス
バヌアツ
パラオ
クック諸島
サモア
マーシャル諸島
IFRC大洋州地域事務所

これまでのご支援、誠にありがとうございます。
赤十字の活動は皆さまからのご寄付で支えられています。

日本赤十字社の 開発協力事業



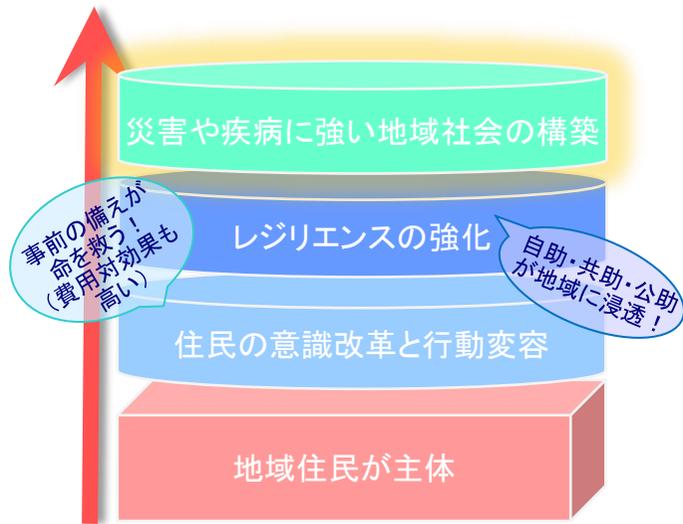
街頭でのHIV検査の様子(南アフリカ・ソウェト地区)

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 国際部 開発協力課
<http://www.jrc.or.jp>
TEL:03-3437-7089

2018年7月作成

赤十字が目指す開発協力

赤十字の使命は、人々の命と健康、尊厳を守ること。危機により奪われてしまう命をできるだけ多く救うために、私たちは災害や疾病に強い地域社会の構築を目指し、各国で開発協力事業を実施しています。



人々が危機にさらされた時、真っ先に対応し、その原動力となりえるのは地域社会そして住民自身です。地域社会や住民の「**自ら立ち上がる能力**」(=**レジリエンス**)が高ければ、自ら危機を予見し、対応し、回復し、さらに前進することが可能です。

そのため、日赤は、住民が防災や疾病予防の重要性に気づき、考えること、そして彼らの行動が変化するための活動を支援しています。

赤十字の開発協力の特徴

特徴① 国際的なネットワーク

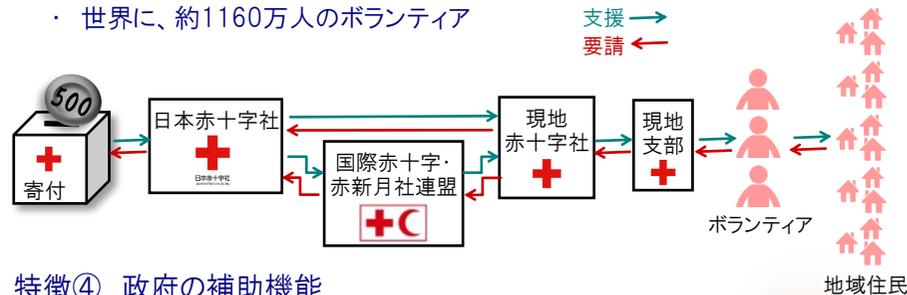
- ・ 世界に191社
(赤十字社156社、赤新月社34社、イスラエル・ダビデの赤盾社1社)
- ・ 国際赤十字・赤新月社連盟(本部:ジュネーブ)
* 世界各地域に地域事務所を構える国際赤十字・赤新月社連盟が、これら191社を取りまとめ、地域の情報収集や各社の能力強化と活動を推進します。

特徴② 全国隅々まで網羅する地域拠点の存在

- ・ 191社が構える地域拠点は、世界に合計約16万5000拠点
* 日本には、各都道府県に1支部、計47支部をはじめ437拠点あります。

特徴③ 赤十字ボランティアの力

- ・ 世界に、約1160万人のボランティア



特徴④ 政府の補助機能

- ・ 行政サービスと地域社会のギャップを埋める存在

これらの特徴によって…

- ◇ 各国赤十字社が各々の資源や強みを生かして、互いに連携できる！
- ◇ 国際赤十字・赤新月社連盟を通じて、情勢が不安定であったり、地理的に遠い国にも支援できる！
- ◇ 支部が活動の拠点となり、地域の隅々まで支援を届けることができる！
- ◇ ボランティアや地域のリーダーが中心となって、正しい知識や情報を浸透させる！
- ◇ 地域住民が地域の特性、ニーズ、リスクを理解し、活動の中心となる！
- ◇ 声なき人々の代弁者として、地域の真のニーズを政策に反映させる！

外部から与えられた解決策は、往々にして長続きしません。地域社会に持続的な変化をもたらすことができるのは、**地域住民**です。地域住民主体の活動は、**中長期的で持続性のある活動**となります。これこそが、赤十字の目指す「**災害や疾病に強い地域社会**」の構築につながります。



耐震基礎工事 (ネパール)

赤十字の技術指導を受けた地元大工が、地震に強い住宅基礎造りの方法とその重要性を村の住民たちに説明している様子



手洗い指導 (フィリピン)

保健・衛生について赤十字の研修を受けた赤十字ボランティアが、地元の子もたちに手洗い方法とその重要性について指導する様子